

令和元年
岩手県教育委員会定例会
5 月

岩 手 県 教 育 委 員 会

令和元年5月 岩手県教育委員会定例会議事日程

令和元年5月13日（月）午後1時30分

第1 会期決定の件

第2 事務報告1 県立野外活動センター災害復旧事業の経過報告について (生涯学習文化財課)

第3 事務報告2 県立美術館企画展における実行委員会方式の取組について (生涯学習文化財課)

閉会

県立野外活動センター災害復旧事業の経過報告について

1 事業概要

(1) 基本構想策定について

東日本大震災津波により甚大な被害を受けた県立高田松原野外活動センターについて、施設が保有していた機能に対するニーズは引き続きあるため、平成 23 年 8 月策定の岩手県東日本大震災津波復興計画復興実施計画において、代替施設の整備を進めることとしたもの。

基本構想は、当該施設の整備に当たり、基本的な考え方、整備についての必要な事項などを明らかにし、基本設計に反映させることを目的に平成 29 年 2 月に策定した。

(2) 施設整備計画の概要について

ア 建設候補地

年間を通じてスポーツ合宿等が可能なこと、用地取得費用を抑制するため使用されていない県有地を活用できることなどの理由から、陸前高田市との協議を踏まえ、県立高田高等学校広田校舎跡地を選定した。

イ 施設整備計画

施設の機能を活用した活動が実施できるよう、管理・宿泊研修施設、体育館、多目的運動場、テニスコート、キャンプ場等を整備する。

2 整備スケジュール等

(1) 整備スケジュール

	H27	H28	H29	H30	H31 ・R元	R2	R3	備考
基本構想・基本計画								
予備設計（造成）								
詳細設計（造成・グラウンド）								H29 災害査定
用地測量								
用地取得								
造成・グラウンド整備工事								6月議会
建築基本・実施設計								H30 災害査定
建築工事							開所	9月議会

(2) 復旧後の施設規模

施設名	復旧前	復旧後	変更内容
敷地面積	148,555 m ²	96,830 m ²	敷地状況を踏まえ縮小
管理宿泊棟	宿泊 200 名	宿泊 200 名	従前の規模とする（備蓄倉庫（スペース）を内部に確保）
体育館	1,350 m ²	1,207 m ²	バレーボールコート 2 面をとれる従前の規模とする
テニスコート	人工芝 8 面	人工芝 8 面	砂入り人工芝、夜間照明付きの従前の規模とする
運動広場	400mトラック	400mトラック	従前の規模とする（陸上競技、野球、サッカー、ラグビー実施可能）
キャンプ場	宿泊 400 名	宿泊 200 名	敷地状況を踏まえ規模を縮小
艇庫	411.13 m ²	—	利用者の安全を確保できないことから、艇庫は復旧しない
駐車場	10,000 m ²	10,000 m ²	普通車 209 台、身障者 5 台、大型 10 台（予定）

被害配置図（浸水区域図）

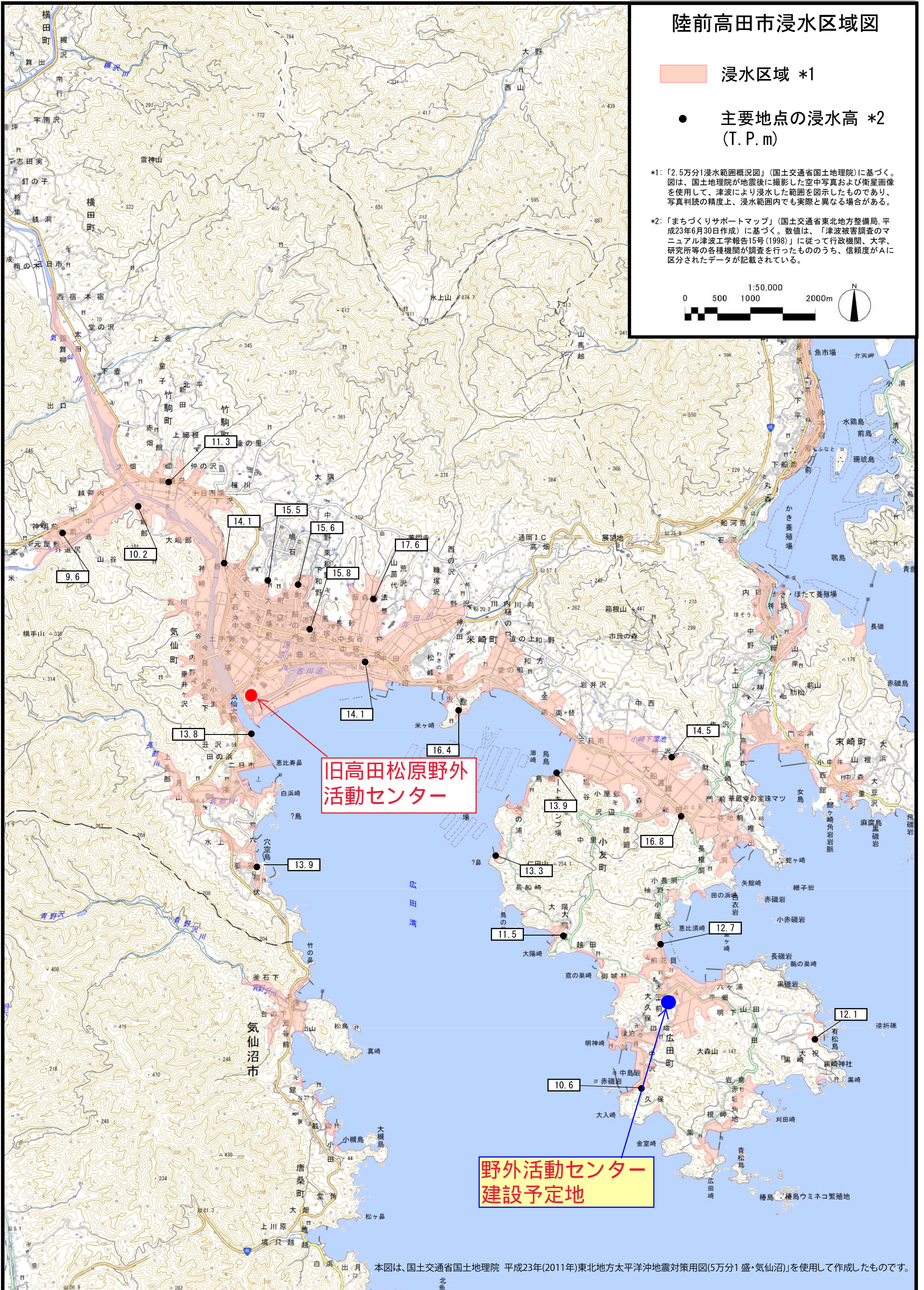
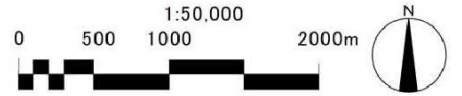
陸前高田市浸水区域図

■ 浸水区域 *1

● 主要地点の浸水高 *2
(T. P. m)

*1: 「2.5万分1浸水範囲概況図」(国土交通省国土地理院)に基づく。図は、国土地理院が地震後に撮影した空中写真および衛星画像を使用して、津波により浸水した範囲を図示したものであり、写真判読の精度上、浸水範囲内でも実際と異なる場合がある。

*2: 「まちづくりサポートマップ」(国土交通省東北地方整備局、平成23年6月30日作成)に基づく。数値は、「津波被害調査のマニュアル津波工学報告15号(1998)」に従って行政機関、大学、研究所等の各種機関が調査を行ったもののうち、信頼度がAに区分されたデータが記載されている。



本図は、国土交通省国土地理院 平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震対策用図(5万分1 盛・気仙沼)を使用して作成したものです。

被害配置図（高田松原野外活動センター）

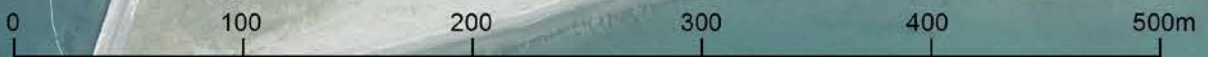
津波により全壊



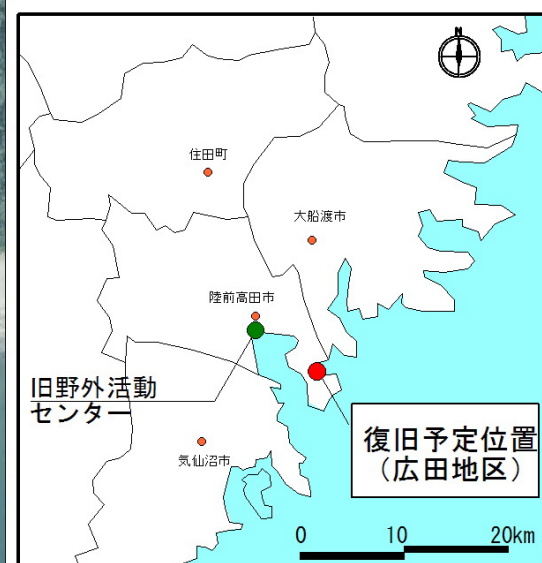
①	シャワー・トイレ棟	106.92 m ²	4棟
②	炊事棟	39.06 m ²	4棟
③	倉庫棟	29.81 m ²	6棟
④	屋根付活動場所	39.69 m ²	4棟
⑤	トイレ棟	23.37 m ²	2棟
⑥	車庫	63 m ²	1棟

陸前高田市気仙町字砂盛

※本敷地は高田松原津波復興記念公園用地となる



H20. 8 撮影





岩手県立野外活動センター 完成イメージ図

県立美術館企画展における実行委員会方式の取組について

岩手県立美術館では、平成28年度から観覧者数の増加に向けて実行委員会方式（報道機関等と共同開催）による企画展を開催している。

- (1) 開催経費を報道機関等と負担することにより、単独開催よりも少ない経費で規模の大きな企画展を開催することができる。
- (2) 報道機関等の機動的で柔軟な広報力等を生かし、通常の広報経費以上の広告宣伝が可能となり、より多くの集客が見込まれる。

1 観覧者数の推移

	美術館観覧者数	
		実行委員会方式による企画展
H27	46,680 人	—
H28	44,235 人	6 企画展中 1 企画展
H29	98,050 人	6 企画展中 4 企画展
H30	57,748 人	6 企画展中 2 企画展

2 実行委員会方式による企画展

	企画展名	観覧者数	実行委員会構成員
H28	野口久光シネマ・グラフィックス展	7,667 人	岩手めんこいテレビ、岩手日報社
H29	川端康成・東山魁夷展	12,035 人	IBC 岩手放送、岩手日報社
	花森安治展	15,073 人	テレビ岩手
	エリック・カール展	33,909 人	テレビ岩手
	篠山紀信展	23,473 人	テレビ岩手
H30	うるわしき美人画の世界	10,990 人	IBC 岩手放送、岩手日報社
	ますむらひろし展	15,563 人	テレビ岩手
H31	ホキ美術館展	(見込 12,900 人)	岩手めんこいテレビ、岩手日報社
	ジブリの大博覧会	(見込 165,000 人)	テレビ岩手、岩手日報社

県立博物館・美術館の展覧会情報について

県立博物館及び県立美術館で開催予定の展覧会について情報提供します。皆様おそろいでおいください。

県立博物館「よろい・かぶと・かたなの世界」

【開催日】 9月21日（土）～11月24日（日）

【場 所】 岩手県立博物館

【概 要】 武家の力を示すものとしての甲冑、刀剣、刀装具などは時代の変遷とともに華麗な装飾を施された美術品へと変貌を遂げた。本展覧会は、盛岡南部氏旧蔵の甲冑を中心に工芸品としての側面、製作技法の変遷などを紹介します。

【連絡先】 岩手県立博物館 TEL：019-661-2831



県立美術館「ホキ美術館展」

【開催日】 7月27日（土）～9月1日（日）

【場 所】 岩手県立美術館

【概 要】 写真のように忠実に描かれた写実絵画は、誰にでもわかりやすく親しみやすい作品である。本展覧会では、日本初の写実絵画専門の美術館として名高いホキ美術館（千葉市）の所蔵作品から日本を代表する作家や岩手県にゆかりのある作家・森本草介などの名品約60点をご紹介します。

【主催者】 ホキ美術館展実行委員会

（ 岩手県立美術館
岩手県文化振興事業団
株式会社岩手めんこいテレビ
株式会社岩手日報社 ）

【連絡先】 岩手県立美術館 TEL：019-658-1711



《森本草介 未来》
ホキ美術館蔵

県立美術館「ジブリの大博覧会～ナウシカからマリーネまで～」

【開催日】 11月30日（土）～2月16日（日）

【場 所】 岩手県立美術館

【概 要】 1985年の設立以来、「となりのトトロ」「魔女の宅急便」等のアニメ史上に残る作品を多数制作してきたスタジオジブリ。本展覧会では、企画書や原面のほか、実寸大ネコバスや動く飛行船の模型なども展示して設立から約30年間の歩みをたどります。

【主催者】 ジブリの大博覧会実行委員会

（ 岩手県立美術館
岩手県文化振興事業団
株式会社テレビ岩手
株式会社岩手日報社 ）

【連絡先】 岩手県立美術館 TEL：019-658-1711



《風の谷のナウシカ》

©1984 Studio Ghibli・H

〔担当：生涯学習文化財課 生涯学習担当課長 佐々木、主査 菊池 内線 6171〕

企画展・テーマ展		展示室
2019年 4月	 <p>「岩手の往来 ～道路のいま・むかし～」 3月16日(土)～5月6日(月) 参勤交代や蝦夷地開発、ロシアからの蝦夷地防衛のための往来に活用された奥州街道、復興の一役を担うかつての宮古街道を中心にご紹介します。</p>	<p>いわて自然史展示室</p> <p>「いわて自然史展示室」では、地質・生物など自然史系の資料を中心に以下の10のテーマで展示しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 大地の中の小さな輝き 2 地球史の中の岩手の自然 3 海にもどって大進化 4 空に向かって大進化 5 海のは乳類 6 水辺の生きもの 7 早池峰山の自然 8 大空の覇者ワシ・タカの世界 9 日本のキツツキと希少な鳥獣 10 写真でみる岩手の自然  <p>総合展示室</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 県土の誕生 [地質分野] 2 いわての夜明け [考古分野] 3 いわての歩み [歴史分野] 4 庶民の暮らし [民族分野] 5 いわての今 [生物分野]  <p>いわての文化史展示室</p> <p>岩手の人びとの生活に密着した資料を三つの部門で構成しています。</p>  <p>特別展示室</p> <p>特別展示室では、ある一定のテーマに基づいて一定期間実施する特別展示をしています。</p>  <p>体験学習室</p> <p>古くから人々が生活のなかで使用してきた道具などを展示し、実際の体験を通して昔の生活の工夫や知恵を学習できます。</p>  <p>屋外展示</p> <p>火成岩、変成岩、堆積岩等49種類を配置</p> 
5月		
6月	 <p>「古・岩手のクロガネ 一発掘から見えてきた 古代～中世の鉄文化～」 6月8日(土)～8月18日(日) 今回のテーマ展では主に沿岸部で出土した資料を中心に、県内の最新情報を紹介し、岩手の鉄生産の技術的変遷と系譜を辿ります。</p>	
7月		
8月	復元古代整形炉作業 実験の様子(立子山たら)	
9月	 <p>第70回企画展 「よろい・かぶと・かたな の世界」 9月21日(土)～11月24日(日) 盛岡南部氏旧蔵の甲冑を中心に、工芸品としての側面、製作技法の変遷などを紹介します。</p>	
10月		
11月	<p>トピック展 「大津波関連(仮)」 1月11日(土)～2月24日(月・祝) 東日本大震災で被災した文化財の再生技術と、再生された古文書類等からみえる三陸沿岸の生活の一端を紹介します。</p>	
12月		
1月	<p>「化石の水族館」 3月14日(土)～5月6日(水) 大昔の水中で生活していた生物の化石の展示をとおして、皆さまを「地質時代の水族館」へのご案内します。</p> 	
2月		
3月		

岩手県立美術館 展覧会／年間スケジュール

企画展		常設展	
2019年 4月			第4期展示 (2018年度) 1月26日(土)～4月21日(日) 彫刻家による彫刻とドローイングを併せて展示します。
5月	<p>タータン 伝統と革新のデザイン 4月13日(土)～5月26日(日)</p> <p>スコットランド文化の象徴であり、世界中で愛用されているタータン。布地や美術作品のほか、ドレスなどの資料約270点により、その歴史や背景等を紐解きます。</p>	 <p>《アフタヌーンドレス》 神戸ファッション美術館蔵</p>	<p>第1期展示 4月26日(金) ～7月28日(日)</p> <p>千葉勝によるイタリア風景のスケッチを特集します。</p>
6月			
7月	<p>広重 一雨、雪、夜 風景版画の魅力をもとく 6月8日(土)～7月15日(月・祝)</p> <p>歌川広重の代表作である保永堂版「東海道五拾三次」全作品をはじめ、主要な風景版画約150点を展示し、鑑賞ポイントを紹介しながら、作品の魅力を読み解きます。</p>	 <p>《東海道五拾三次之内 庄野 白雨》</p>	 <p>《千葉勝 サン・ジミニャーノ》 岩手県立美術館蔵</p>
8月	<p>ホキ美術館展 7月27日(土)～9月1日(日)</p> <p>日本初の写真絵画専門の美術館として名高いホキ美術館(千葉市)。その所蔵作品から日本を代表する作家や岩手県にゆかりのある作家・森本草介などの名品約60点をご紹介します。</p>	 <p>《森本草介 未来》 ホキ美術館蔵</p>	<p>特別展示「柳原義達」 4月26日(金) ～10月20日(日)</p> <p>舟越保武と同時代に活躍した彫刻家、柳原義達の特別展示を行います。</p>
9月			第2期展示 8月2日(金) ～10月20日(日) 平成30年度の新収蔵作品を公開します。
10月	<p>紅子と省三 一絵かき夫婦の70年— 9月14日(土)～11月10日(日)</p> <p>岩手の近代美術の発展に大きな役割を果たした盛岡市出身の深澤省三・紅子夫妻の70年にわたる画業を個展形式で紹介する県立美術館自主企画展です。</p>	 <p>《深澤紅子 少女たち(姉妹)》 岩手県立美術館蔵</p>	 <p>《昆野恒 ORIGIN No.1》 岩手県立美術館蔵</p>
11月			第3期展示 10月26日(土) ～1月19日(日)
12月	<p>ジブリの大博覧会 ～ナウシカからマーニーまで～ 11月30日(土)～2月16日(日)</p> <p>1985年の設立以来、「となりのトトロ」「魔法の宅急便」等のアニメ史上に残る作品を多数制作してきたスタジオジブリ。企画書や原画のほか、実寸大ネコバスや動く飛行船の模型なども展示して設立から約30年間の歩みをたどります。</p>	 <p>《風の谷のナウシカ》 ©1984 Studio Ghibli・H</p>	<p>東日本大震災津波で被災した陸前高田市立博物館所蔵作品の修復状況を紹介します。</p>
1月			第4期展示 1月25日(土) ～4月19日(日)
2月			「光」をテーマに複数の視点から作品を展示します。
3月	<p>アートフェスタいわて2019 —岩手芸術祭受賞作品・推薦作家展 +岩手県美術選奨受賞者作品展— 2月29日(土)～3月22日(日)</p> <p>岩手芸術祭美術展の受賞作品などを展示します。</p>	 <p>art festa iwate アートフェスタいわて</p>	 <p>《杉本みゆき STRIPE MOON》 岩手県立美術館蔵</p>